

ブ。ロレタリア通信

共産主義者同盟書記局

第16号

1967.6.11

# (1) 6.15集会の巨大な成功のために全同盟の総力を

## ① 全戦全国の同志諸君へ

15への第一段階は終つた。

六〇日臨時闘争において終極一着として日本人民の覚醒に立って、そしてオニには、「この向の激闘を甲ごとした全同盟の強力な力に力められた各種主義論争問題の責任において、五・二八砂川現地闘争に力められた、分犯集会へ進出した（中核派）のこの当分の差が完全に埋まらなかつた。

② この一週間の6.15に向けての組織活動は、全戦を以て成功を収めたため、全力を以てきた責任にむかひて、われわれは「六・一五安保闘争」を以て、

政治集会所の成功に向けて、六月に入。これまで、日没フル活動を比較して、一般に強まり強さを示した。

われわれは自信をもつて次のコマを確保する。

12.15集会は、その直前にひかえて「全学連再建委員会」の結

オニには、六月三日都立委員会、六月四日学生連帯委員会、

集り合ひで、全国集会所として準備した。だが、大東系圏・全国学

六月六日学生連帯委員会により、6.15に向けての体制が確立され、

主への組織力の配分は、最終的に二五〇〇名程度を以て、

れ、6.15入の結果は全体が入。たこと、そしてその結果が急激に

か。たのに対し、今度の6.15については、大東系圏だけで既に

「浸透して」ついている。

整理券の配分数は二五〇〇名に達して、（六月九日現在）

オニには、六月七日の全戦一本のスタンバイに、6.15

同様のことはスタンバイを以て、力に「ついても」

が、

は、我々はしかし、今年の6.15においても

③ このように拡大して「ついても」の戦線・拡大して、

今までの統一行動の成果は、我々独自の力を以て

われわれの組織力も、人々も、組織として組織化する。この

を我々も「ついても」した。しかも今年の闘争、砂川基地拡張

が、今日から十四日まで、この段階における任務である。

阻止が組織の課題である。か、我々は、同学連闘争が、

全戦の同志諸君、連帯会線において組織活動を全面的に行な

部内の「十校採用委員会」に対する抗議を中心目標の一つとして

ついでに、

設けた。

我々の接触時、他戦線での結果——「ついても」

我々の6.15集会の戦士闘争の力、

むつた。これに、警備隊の浸透に向け、全組織を回す。

行動の成功にかかっている。

ではないか。

オニにおいて、6.15集会に向けて整理券の組織的販売は、

自信をもつて、更に大胆に大衆の結果を表現して、

なか、他方において、統一行動の成果は、

④ 「6.15」統一行動の結果、6.15集会への

——これは、大衆の力、

我々は六月十五日午後、6.15統一行動の成果を、

特に集会への結果は、中核、配下の脱線、

く、

であり、学生連帯において、

分犯集会で、中核、配下の脱線は、

オニの成功と集会への圧倒的効果を保障する。た、

「ついても」の統一行動については、

集合時刻／六月十五日・二時





中 藤原 隆平 十二月に藤原を討つて以来、また又等しく

藤原を討つて以来、また又等しく

藤原を討つて以来、また又等しく

藤原を討つて以来、また又等しく

藤原を討つて以来、また又等しく

藤原の内訌

若田 弘「藤原の獨逸時義」

藤原を討つて以来

藤原 水光「藤原、三波の争ひ」(又争ひ事)

一〇二五「藤原の内訌」